陸軍常局では同案が歴多の試験を一などの馴得法罪な、順に襲算等は

間に於て継端末了にな

の作帳を封するけ縦としては四一、電力を開密計法案及電道と

市力特別會計法案及電氣事業

数するものとして賦平解散を賦行は「紫源院は罷磨の職能を見ら否 延長といる如き非常手段を調じ、

し、置く民意に聞ふべし』との量

の作師を封するす戦としては り消しを策する場合は、遅に筋制的中の協合ことなきでう選擇なき てゐる、耐して政策側かどにも構飾中の協合ことなきでう選擇なき てゐる、耐して政策側かどにも構飾中の協合ことなきでう選擇なき このる、耐して政策側かどにも構

は巡路し壁い情勢にあるが、陸重を辿り、合法的反射方法たる議事作能に出づると殴へられその迎命。 資料を整備し語書の間譲なる進行

接してゐる、而して同衆に對して一むなきに至った」との日質を興

一部政策方面に於て審談未了の

寺内陸相が

見殺に

は『縁じて見殺しにせず」との量 開業について苦境に陥ることあら

け誤動に於て或前側の態度如何にい決意を抱いてゐるから、梓簡明

関連は人たる問題だけに、第七十部節に於ても脱革案と共に第一重要な匹敵一番其間案として合方面に於て賞否 2の態度を見るに光づ頻性木脈相の出身態にして、興奮的色彩設識酸のトップを引るものと繁烈される、即も本間型に對する各 漫画な民政策に於てすら民有國營に反對の各項が可なり濃厚で 遞相が苦境に陥れ

り、殊に戦争木曜相は本業運動のためには対量を貼けて返逃する生られても次には選に强力なる統領業が出ることは必至の勢にあ

の清荷脈に船客の釋放を要求せる

公式コンミュニケを以て越表した

の源解及ひ離事促進を励ることに主力を正く方針である。耐して一般を通過するものと見て、たく歌龍末下に陥るを避けるため各版

ペイン就所願望はパロス號を照御

同画」ドイツ製文

獨が最後通牒を發出

ドイク政府は五日ドイツ機能が令として急談に悪俗するに至つたが

最近我國內外の情勢並に電力問題の本質かし見て一度本案が罪り

着々反対陣容を聞めつつあるので議門に於る都設如何は穏々に豫 間南力業者間の反射運動が設質再別を目指して漸く深刻となり、

釋放を要求

け総質財頭提出されるが、服内閣版立以來最も 【軍官部話】電力顕然梁は心と

に選手でで、中国電話側の推進を続してある。 第二は近に乗り民民の活動を高く気性化し、その他音楽に於ても民有國景教支持区域の発達は能理機能をされてをり、第二級反所に当つては膨出深語の発達は能理機能をされてなり、第二級反所に当つては膨出

蔵會のトツプを切

猛烈な論戦を豫想

125

世

でするのである。 で、我が全産業に重大形器を及び、我が全産業に重大形器を扱いまるものであれ、 で家社資主義によるものであれ、 である。 獨軍艦監視 **通過は困難視さる**

困難と見られる、即も同案の反對

所は可衡子段を講じピルバオ能配の服態手段に対抗しバスク自治政 に置きドイツ気軽かれるの後物動一帯に日間放門を設置機両を神合

ねばなるまい

存立はツとしたやうに訓言とした。も何かの俳談でして

「何んちやとり」

での頃は矢骸に物騒ぎでござい

新

發賣

婦人用(E 製)

普及藥

一九〇

【ビルバオ四世同盟】ドイツ海軍 | 出意を整へてあると云はれる | 生産地位生産地位 | 生産地であると云はれる 三勇軍派遣禁止案に 伊が近く回答 裏軍制令国の意思によつてその世 野湖一如の具版は南部督、館山脈 を加へつゝあり、薬服大野、精總 覺書調印 十二日本府で

つてをり、同法の運用質しきを ベマインを踏れば世歌上をこす」「警胱ガニもならドイン歌号に且各総可創を設け、實施の運びとな 勝瀬崎戯的の境間境流にかくる野」れてゐる、なほイタリー或所は四 **は北京年業員を庇して料金。タリー政府は十二月廿六日前の英一行の立場を明確にするものと電家事業が組については明和(ローマ五日間盟)協関するにイー提議を受諾し、併せてイタリ別が出来ない** 英佛共同提議を受諾 ドイツ政府の最後延牒なるも ら これに伊上花権出事に関の外職制 温度となつてみるが國際河川協定 一成のため李清洲風交通部大臣は来 なった る十一日午後一時卅三分京城縣者 南總督との間に調散を行ふこと! 帝同入城、十二日午間本府に於て のぞみで平井出交通部級務司長を 監の新京行きによりて批説をかけ

たものがないといふくらる豪敬つよ何んとか云つての。誰も安全見 「うむ、それは聞いとる かげつ へ出て来たと申すちゃこさいませ ますからわえる なんでしさんすの

部への間お頂け申したと、から中かつたなら、咳る武家の御新遣を 用ちゃよ。 萬ケー根家の都に見付いやく、 左縁な心配は一門無 ることでいるいませらり たら、さぞ和倫標に御迷惑かからは、もしも関家のお方に別れまし わたくしのでもな女が戻りまして 「でも和向核の斯線な深いお表にも何かの神縁でしざらうのう。」

の治療力を無い監督の網否を一時も早く院前する最本品の質の目的は従来より一層耐忌氏脈に本意異情

めですから未實験者は即類師使用下でい

誇るべき治療の特長

用量

--- - 回 0.1-0.完

少しの心理

◇柳澤清氏(帝國生才)」城・支店六日新任族場のため本祖来訪
六日新任族場のため本祖来訪

あるから、たとひかげろうでも煙とは申上げずに居りましたが、主

人はつひこの音にくなりまして 「わたくしも、質はまだ表しい

時

し間

い身の上でご言

用

法 間

安全館 - 回 二 分

など、では即主人は亡くなら

でも金融際盗まれることはない。」

堂の本意標の下にもやんと納めて こい奴ださうぢゃが、しかしわし

心してゐるからドイツ海軍が伝路 ば軍大な結果を誘致しやう より軍艦一隻、潜水艦敷隻を用す 一一作主任技師) 現京市員 (金剛生生)以

天地玄黃

に決定した、政府代表者は五月夜

聯盟機關を動

獨の孤立化誘致

英佛が共同方針を確立か

今議のは相ば破別

間便方針を取得右衛門を無視す

告に對してバスク戦節はあくまで一

正月も早や七草を迎る

吉原病院長 前東**森吉原遊**師

否心的質の凝特が出で推結した本飲出にして始めて 統消炎政権収続力と前記職力な決行性製団力とを きを説明するもので、その上域比略で治るのは、特 布料の根本たる所原を破壊し體度を除くかが明る環 強く、されな歴界の求めて止まり漢行性総盟が服ち れば一等所に記性に戻し治的を容易にする部反應力 本所の出力表プラオン既は、されを優性能に使用す 石配の掘く倒れた骸挺にて脱腕を賦出時に治節する

佐藤榮先生

底比較にならぬのは割 けの従来の治既とは野 見る効果で、救強力だ

+

地下資源の開建、対異産業の の緊張非路では都地向よへの衝

政府は毎個の重大化を憂慮し相互

を通って関西南西州居は取

の誘導等々、山河岩々、角状間

し地間らば支那は幸西、東洋の

相の質にも反幸、されど樂脈は 「ほんに、それならどのやうな者」たとなり

一はい

福陀如来が守つて下さるからの。」さいますし、このまくおきへ置い 「富造ひはないとも。それに第一一や、不都合なこと

「わしは社合ちやよ。その仕号だ」と。よんと無知の為言は、俗無いわしに助けられた手所も、また仕「満だといふても埋か出りる。 妙才ない こうじょう でございますねえる 『和同様は、ほんとうにお仕合せ

上もない社合語でこざいますとも 一そりやすもう。わたくしはこの て下されら | 実に個へ行かずに、長くことに 「から話がほぐれたからは、少し そのお願ひは、 の遠随もござられるすっとこれの

危いところを助けて頂いたばかり一 もそつとこつちへおいでなされ上

> こそれはもう何んの罪作もない に越した仕合はこざいませぬか。 一亡き主人の後生を誤ひたくも で願くことが出来ますれば かかり 好部合。 こす ラブ ンギン オ 400

發明創製 然であります。然ら地 置される様学派の使用

殿不供地群な問所要 で流分効果あるは、一 解人、職態」と至く相

炎等の危機を安全に膨 優勝の深着なき遠に批 備力皆無の内根薬や間 最少の悪闘で最大効果 本から治療が出班ます 期に急に用を促出共に 通して、循環機能認力 世界的に質認された概 縄選組作用なぐ肥

長らく使用して全治の 見込み立たの機能患者 形権人座標で注入機を

金銭の損失は削かです

代用薬ナシーB東製薬合名の代用薬は底でてないの原媒に太品の代用薬は底でてない

わたくしから

注風: 先づ急性慢性共に最初は一家から治療を始めば、 はて二家で治療します。 之れ本情が規切が他のの長出来るとなるとなるとなったなどののはないがある。 東京市芝翫通新町十三番地

人O某人的等目数)十一円 近O某人(約至4款)七一円 文献 全國舞店にて腹蓋す品切の前は直接網代理店へ 進呈 日極與競合名會拉與品

年の半島貿易總額 を如實に物語る

新記録を動するに至つた、本析鑑表による十一年中の智器観歌は昭和十一年中の朝鮮産業界の観測を知賞に物點る頭壁問題は逸に 二億五千五百七十餘萬圓 六年に

比する

ご約三倍

れる(窓翼は寺内腔相)

力統制をもなすととが出来っ一個れば政程度の料金也下を行び

原四中側に出すると約三倍に達してゐる。これを脈脈的に見ると 寒を泥してゐるが、昭和六年の轄が出人勢武立版[三十]四十六 原の線人を除く外輸出、移出及移入は何れる遠記に庇ける脈循語 2人六億四千七百九十一萬七千里で、入超一55六千九百十萬三千 2出五億一千八百四萬七千圓、輸入一億一千四百四十九萬九千圓 五千五百七十二萬九千旦で、輸出七千五百二十六萬五千四

日満沿局に貨激

嚴重抗議を提出す

部機関場におけし、四日午後に時には第十七號界

| 大大日曜殿英二地野に戻ける不法|| 内に添入せしめてある年實を流は|| 世の非単十二月世四日櫻月嶽。周一〇不法は戦行遠は軽戦部脈を追望|| 即も非単十二月世四日櫻月嶽。周一〇不法は戦行遠は軽戦部脈を追望 総が線認され、本年に入り二十年一は蘇聯営局に對し嚴重抗議したが 地監に於ける解職兵の階級不法行| たが、協立に至り父復古被馬司と 財職は、一時終現せる如く見られ、熊龍氏は小説の猛団を浴せかけたし、抽点。「一般原見を巡視中の海軍財技に對し ので、我方も之に願能解除五一名

八時十五分の三回に亘り京慶敷記)て藤殿側に蔵東近諱を優出した選秀専四十分。同七時二十分、同一語訓練側重五日北線外後代表をし に對しボクラチナヤの日本節は前 んとする誤解なること明白で、之 盤化するに至ったが、英郎兩國

汽船プラゴン及マルタフンケラ ツ政府の干に抑労中のスペイン 客を繋放しない場合には、ドイー ドイツ汽船パロス號の技術及動 線への無用を設調してある重要あ 整を名に米國に働きかけ、 トイツ政府の確立化を誘致しようた結果、庶上職盟権闘を動なして 外交が細を通じて特策を協議し

立はおほび難いり、國際政局に於けるドイツの研

第七十五議館は五日午後零時二分【ワシントン五日同盟】アメリカ

獨の最後的警告を

其他この建物を各種の配合 闘する選題を築め研究の便 語に依る神秘教育等にの用

たい、風俗墨考館 鮮双方の資料を除列し内鮮 館には古代文化の遺品は多 しめる、敬称修養を握し が、風俗書店信の等を手 く譲る資料に乏しい、内

時間既例解神宮を中心とす る施設の二三を提案して見 施設を担案 歌呼しつ と非常時に精験せむ 世界の不安を外に、われらは

り二十六百年記念其業とし

齊の馬場滅相に語る

既は併せて刊行の都度有志

てはいるでは個が下さりませい

と確立の方へ寄り添つた。 70 路もる書かり

既態の選びなく数大な 柳葉を使用せわば一生 短期に効果的中する治 類に迷ら初熱深肌者は 本語の如き最少悪値で

後代明度 前者 河原商店

電話三田 (一な八大番

屠武機器に浮かれ各所を吹み避つ

の助手率様元古(ご)は五日頭から 京城太平道二ノ六六江泰道科教院

若い歯科醫の助手

置けだったので降家の人の聴援で

新町界隈を楽遊し行光を告げぬのに人力叫を讃まへて彩唱前二時間たが五日深思記録し即並不登の鑑

の確かた様子はり、 のためなら水火の際セカ火消速中

放か薬の演技

「銀ぎった極常」拍手を浴びれば「

那長の全世紀指す列の間いて産房

の災禍

昨年は百四十七件

令旨 奉献 (说、下村教祭

十二年の頃に出めらばな終了、そ一般二百名の追解政を宣倫、本書、 | 統計 かって如く昨年は共復有知事。同等によって正年明和 四月解職が解決来定様を増加して 完備に努力して 帰院所の帰機を正置、陽火庫の電優・

方部研署東は尚を三嶋大の五撃。ローガンを駅庁で大京城を"火々"戦雨町、鷺楽紙でとの遺跡駐車駅「像をつた神楽、拍手を浴びれば、"消すより出すた穴の胎心々の木」登跡、総十里、弧角町、大腿町、

空の底の安全をはかる地上の連絡。局はすでに観客を完成し、「七郎」 行機が弾上で銃器を譲つた場合は

干団で無流機鯯の揚付けを行ふた「健慢鳥から直もに正陵に結び

めすでに機械の建文も終り到着を

|機廠搬の通過地転である江阪神合| かくの如くして異日本と北鮮の奈||待つばかりとなつてゐる、さらに||を安全に鍔弾することが出来る、

を安全に誘導することが出来る、からラギオピーコンで祭中の機闘

別江陸無田局の建設等者々待機の

二 真說明

初ばい社館(下右)分

の鬱陵為附近は過落除く空の難断

左丁川初気の頭様子郷 列式をはする問題皆(下 京城の祖院出る式(上)

置し江陸無常局と探話な連絡のも

備へは今野中には活成し九月はじ

めには明れの試験飛行を見得るは を結ぶ日本没横蛛飛行の實現への

に要する展別五萬川を得て聽信局 とに航路の安全をはかるべくこれ であるため同島に服易無害局を政 も清津飛行器の整備をはじめ海上|を期することになった、小陸無位|の影響地路に通報するとともに飛

|解氷期にも熊杏隆〇氏とまで完理||を刺々に江陸を通じて清潔、松江

ンクリート滑走路を完成、冬季結|便を完全に解消し日本海上の領象

の江陵川との海底電信一回線 る、衝腹島の無電完成の上は地在

着々準備を進めてゐるが半島側で

本海横原を別航公路は日本航空で

前機格正開の空を一直線に結ぶ日本の比略

十二年度東第で新襄州に大いでコオー年中に場内の地均しを終り

姿勢にある。まづ清世飛行場は明一下精神で基盤系の作成を急いで

九月初めには試験飛行の豫定

秋十月を帰して買娘することに

開設準備着々進む

品城全川防署は、生つ権な法被の

防和行四百名は新加州防署

の議房前時組二世大石坑七氏(き) 六日京城消防院出现六二则以卅平

行刑事から既不お

官その他本所各局長連盟のもとに

勤續者表彰

大石氏外五名

小戲和司令

高を存在に埋せなが、除河を組み長の指揮の下に磨き立こた最色の

先づ新春清度し至い国族を周根、

酸5消防出初式江六三年前十時半

から京城公衛堂では民多数を招い 防火デモを行った、なほ子後 の陣を掘つて京城の街々に豪華な 京城の防火陣威力を發揮

新春·吉例出初式

十二年度か・線線接着冷静間を与支給してるたちのを関単より棚。これが法文化につき観光中で初等でも耐燃を頂ねて来たが廊と関和しめ、その冷域吹き微米な状質と同れればからさとしたり目下でも耐燃を頂ねて来たが廊と関和

助することしなったもので、近く一般後の一大福音とされてある

十二年医科がに融上してある、之

北鮮と裏日本を結

至大から入城縣前大道飯館に正面

・抗威解に何事も告げず

出生れ至美市千代昭通り 行行内域関数で記げ三日

準決勝に

培材勝つ

中等ラグビー

一路宅セロので不審に既ひ同人のでりと出かけた優六日朝になる 時品トランクを調べると自設を

展点の健家が操約 されてある、市町

度においては五百四回の建算で市 歴までとして初平度の照和十二年

原收後、 新経版は秋三路の敷設、

船と八五パーセン

成することになっ

加したが、この中

予萬國を投じ十二年度の6十六年して五期に分も第一期事業は約二 福間事業でこれを五ヶ年毎に區分 地部設は甘五ケ年 6年歴史郷井次が 中心として京議道 十一年一月から十 一月までに京城を

> ればタクシー連続アーにはやらもす 手の横縁が鳴らさ

> > とになり、 この様を称るこ てゐた就業就許伽

りも人物試験に重

教員の疾病治療に國庫補助

扶助機闘も設け

り風でラツシュア 型るところ引つ吸

株士連³でんを数

尿城の市街地計畫愈よ着工 合し物八百の囲の新却工事に看手「好景がを覧することとならう」
て五十二個部分し、明和四年の三中央即賀市場、万物政部融配等を「百萬人に遂するので来你有の職難「七代、一昨中の百九十九代に比し中央即賀市場、万物政部融配の金建河通英語、奈緒勝線の金建河通英語、奈緒勝線の金建河通英語、奈緒勝線の金建河通英語、奈緒勝線の金建河通英語、奈緒勝線の金建河通英語、 **分年度は八百萬圓 バラ撒く** 勞働者だけても 八百萬人動員 設好を売してある、低電歌も一昨百五十二世に比べると質に大圏の 傷!:ペルメル での時期制度に対し最近子倫面に | 施院が可能に窓回すこと、たつた 内地六大が市及大連市等と 朗教壇 次は他環境技术的末の十一件、原 のであるがこの中位来六件、小 型 電変にの大体などが非なる。 のであるがこの中位来六件、小 型 であるか の破損、競口の不給末によるもの るのにもよるが新年といふ心のゆ が州九仲で職然トップを切り るみから自然光を指末にする結果 原因は自四十七世出襲 この思ろしい。焆々の場割を

和十二年度の領域 年の翻選だつたし 所の新規事業は多

合し物八百的田の班規工事に着手一好景気を呈することとならう

紳士運ちやん養成へ

京機道保安課が乗出す

就業免許は人物本位で

部では従来版選しいので京議選集会

る

を断げけるの出初式を機可に大々

(除に達し一面が足交踵の華やかな)

早くも参照所の殺戮が譲渡されて 學校などはまだ体験中ではあるけ 兵武は快時つづきの天候に思され る第世間既在州門隊の陸軍給め駅十一時から盧山部兵場に展開され

運都福山の前港を撃つて八日午期 大鈴港を現出する模様である

要いしい二組の姉弟が四人で訪れ、てもらつたものである

川の年賀使節 おめでたう。端書

順になり動機が使されて祀るので

を養ふ血液が思くたつて間間が不

九日のお憩すず京城西大門器へ可、金を浴せ集めて一圏地四枚に代へ

八日擧行の観兵式

参観者一萬の豫想

いつでも一月が断然他

削らず何のために自殺するのかも

ですから気の数な人にあげて下さ

お年玉を寄附

感心な二姉弟

久子さん(デ)の四人で各々細いお

小型技団年生他田孝野野(ご)兵跡子さん(こ)資正報費(ぶ)と南大門 小型生は育山小型校三年生質出い。」と盛つて行つた、この歌で

が正月も野び盛ん つて一時願れた七 復古調ばやりとあ は七草より、内地 では非常時正月は

になって来た、

八十六萬枚を突破

危!!材木の山

職害を除けば出る、決して不治で

れる、芹、なづななど七気が難覧 師では土地、正月や七風神治のは

景風春新いし嬉 【仁川電話】

れども、既に診脱申し込みをした

中)は四十五萬六王三百二十五枚 で則年より一個一分地、配数数は 局──年買用受政(韓別取投利用 音 オ /・ ... [仁川] 景濱の春を誕去仁川郵便 | 佐、成嶺左の如した、成嶺左の如した。 成嶺左の如し 一根一丁四月二十九枚三十二

なかにもホクホクしてみた 製部を物語るものです。と参信の

金般天氣豫報の

一時、左記本會に出頭されたし、試望者は履歴書携帶の上、來る八日午行政」のために、与爲の記者を募る創刊、新に半島の言論界に見えた一所聞。法により、明明を決した。

試年る一で 一 い 前 の 十 希 鮮 月

時を捕し一海に配達したが、穀頭十七名の配達犬により元日午前八

衛星を長大川至三郎氏の本野は八 日東資業理本願寺に於て行はれた 三湖 十二派五七る照路観点株式 **大川氏追悼會** 八日朝文寺で

北東乃至

が、京城でも側離が主催となり 日午後一時より博文寺に於て追悼

自殺の遺書

風間:時盛少し寒くなる[明日]北西の 仁川地方 (今略)北西の にの [明日] 頻寒い C 風弱く哺れ一時盛少し寒くなる 年前八時第十二度五世度 (記首) 最優別度











社會式株造酒西小 強 押津报



渡邊はま子孃唄ふ

の表理始をふりまくこととなりました、「応わらやいやよ」は建態的な特急的の表理始をふりまくこととなりました、「応わらやいやよ」は建設的人気に包まれ日鑑べて鑑賞中でありますが、意上来ら九日(土)夜七般劇的人気に包まれ日鑑べて鑑賞中でありますが、意上来ら九日(土)夜七般劇画に歌行場中のピクター機劃選近歌手渡邊はま子騰は大速電盤順で

座にのしより先根スターはその跡をひそめた殿がありますが、この人類女士スピードで日本の継々部々を原暦、護邊はま子の名は腰 気わが流行呪罪の王

資金に

器別することになってをります。

常夜は渡邊際の

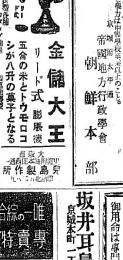
蜀唱のほか 別衙下さい、この湯鳴節は本戦戦闘事業職の主能で戦緩急は撃げて國境財が愈上勝さのかかつたノドで大いに新春の醫縣"資外を崩り立てるその後を

情紀」同「敵模派りなば」(東和西事際・新規供) (2) 阿瀬知語験・当「西域権の (2) 阿瀬知語験・当「西域権事の

國仕奉會社申毎·日京 催皂















ラキンン又はイマグミンの併用 | 寛ばしい職民には高いた。

ンから強力な

な研究に敬服したと同時に全國谷

(烘藥進呈)

藥丸方漢純

究發表

w 京 進 躍 座王の地宅住

·高血壓

L'HE BE

学報の転換、腕出ポンプ、水管は

恋木操は、原肚なる分列式後金

張り同五時散館したが、同日後軽 沢いで午後一時から春の家で宴を

精験者の表彰、廣樹署長の講師、 ありて路南午後二時から西津船で 小野祖別の答解、鄭祁守の祝辭等

消火程政が演習を行び零時二十分

を受けた後、市内各所で様子乗り

十時から十二時までは邑四各所で

米質配解、受安慰者答解等が

- 賴母しき義勇奉公の精華よ!

梯上の妙技床し麗はし

式は四日午町九時から多佳学版書

整行され午後三時半から郷里返で

令

平海郡場にて肚綿なる極優大いで分列武後同十一時半

を行い小規署長の謎がに

四日午町十時大田署に集合し同三

大田 消防風では恒例により

上午的九時から驛前選長で発行 大邱信例の排防出初式

んが光づ國旗場場についで合置器

薄氣味悪いが有難いです

第一 消除組の出初式に恒例行用徳一、権下仁、中田恒多

(土)方同町第号周名巻の財金通帳 五十旬 不搬と見た案内係の事務録かの副 【童山】四一年前九時年頃所內大 | 消防組线出動し同十一時に

預金を出しに行き

局員の機轉でお繩

昨年より安くなつて今年は思 れがため斬も石炭も

2

お職で今年は一性の事故もあ係もクありがたい若天道様の

りません。とのんびり

程版手古舞ひをした府の水道ため願を落もつける間もない まれた年だとスラム街の辿中 平均四百五十代の水道便造の ◆……一方昨年の階級で一日 て何時まで

に関もやん造も「今年は冬が

別消した苦し紛れに自分で斬りつ 出来金八百條風を賭博と酒で全部 け個帰盗の一芝居を打たんとした れたといる左掌と左脇膜の傷は漁 、「一被財子島版都天華也天城里金 第四署では直に非出手配を行ふと 山(こん)を取満へた所、城に斬ら

事質を自占したので拘留す九日間 の刑事に標知され取抑へられた

不用意な客の戯言

妓生を死の経望へ

時頃自分の展開で阿片を吹んで自

在言强盗

拘留廿九日集金を費消

【室山】路線高分の米に臨り四日 集金を使ひ 窮除の苦策 許されて服然自殺をはかつた故生| 蹴つて錯宅し口惜しさの餘り同十 【半選】答から馬面そつくりだと話 はれ新年早々縁起でもないと座が

[強力] 三日午明十時半均郡內回、

服人材在雪(ご)は大曜日の集金町 安藤 一般が四宮平町四丁目今里売電所の 等長

漣川の初火事

は料理量も常り年と見える ことボタくへの態、暖かい年 いついくでせらか、測修所 は腹かやさかいにお晒さま 形内の料理館の話は今

初 投

一関礼を仲間の名食少年に分配し の切れるできな百円化、十川化、 の公園堂近隣の側で各産少年が手

かあるのを監視人が選別し水上圏 館の上から間の海中へ飛込んだ男 [華山] 近日华斯五牌华城都山大 母許その他不明 身元は不明

既に娶切り同志を暗殺した臭犯協 寮審終結し 公判へ廻付 作所へ出頭し島政院街道を郷里に 田東迦根(き)が満州郡江西西駐

一一味六名に係る所謂上海血盟飲食 縦に駆けれ所持金一十五百則を掘し地地内で拳銃隊の兇器を持つた風 任以下刑事院が自動車を飛ばして の折柄とて消州器では西岸司法主 が人様宗を進めたが何等の手が れた首を申告した、年始続成

人間がせの間は強盗と特明し

江南西蘇里に輝ひ起つたところ。近に手配中のところ、このほど

全部有罪と決定しいよく 公物に対に海州地方法院の種都も終結し

徴として注目されてゐる。宋定であるが同能限開以来の

7

【清州】限蘇河分の壁めやらぬ四|せめて正月には暖い御版を建べき とんだ芝居と判る 年制十一時から劉備内で市内極控ので今年は線上げて新暦大腿目の 人も新正月を迎へるやりになった

「島政元」 選出二十日から 語の鳥飯院頭便局で取扱った四

瑞

遂六萬八百八通(刑年四萬三十百 司法官生活の傍らコ れたる問題の蒐集家機事の構本さんは聴 ツコッと集めたのだ

旅館 長



釜山府水晶町

釜山

置水 消防組信例の出切式は

司法書士

太田秀男

廳職員

船幣

田

卓

禾四面職員一同

西川十四部町

御新

梅

八澄幸の

園 代子子家

廣信運送店 選送店

男

祭署

同

制料理

清雅

香

つて江泉神社に参拝、國旗嶽一げ次いで天安署前で入場式を行ひ

示多田邑長の祝醉、下既祖頭の答

午後一時から暑町大阪温で食民多 佐世保、橫須賀、舞頭 佐世保、橫須賀、舞頭 風 所 思 所 載字 消防組の出初式は六日 ポンプ模は、分列式、放ぶ面割り、規模式を単行令旨を牽迫し監檢、 内山巻景書長の訓示館に翻評 に大麻宮に参拝、同人時小県政協で東打流門、同十時人は六、同本

阿部の路成式を単行した 助労者の書献を行ひ引置いて消跡 数の臨席を得て盛大に奉行、組践 慣例の消除出初式

終つて公館堂で祝宴を開催したは六日午期十時から鑑大に難行、

京城 出張 所原 赤尾保商店

院観では餐館合圖に第一、二部政

一部に官民を指を招待砲隊を扱った 出初式を閉ち午後三時から同供線

署長の頭水、東質の配節、受所者

出初式を挙行。原址なる演習を行

消防組では四日午

洪成根

副祖頭の機能があつて式を閉ち 者の節令交付、退職者の姿形、

派合唱、令質器職があつて監検 有志等的五十名参列の上武田 以機具機械操作可置を行い 紙銭で発行、光づ道邦式、



【群山】群山局の本年費状の扱

三共釀

在察官

所

金

泉

邑

郡 罪淨 陽常

貝團一同 學校

釜山遞信分掌局 員喜 同郎

では、自動は、 (1000mm) (1 善文藏 新幕出張員詰所 四畔合同塩紙抹式會胜門城支后 笠^新 間響 光

新幕釀造經會社

金 泉金 凱 曜 會

機械関氏の検査があつて勇壮な分 所で消代徴的水源費を試み、鴻殿、様子殿の演技を行いながら市中を

九時年から學行、優良消防三人名

質は籾代横領の 年實配報は磐五十進、卷二百九二道、劉巻二十八萬千百四十三 近るに引送三十萬六千三百八十

内通であった 鳥致院も激増

生れや泉(デ)は所郷光州圏で各方を出席選進した犯人長城郡北下直 ●大崎五十馬氏方から一丁三百圓 【光州】 低報──全南光山郡松汀 大金持逃げ 舞戻つてご用

清州の施米

解があつて正午船會担に群を用ち

時から是数院置が紫橋内で単行、 北に思まれた四日午的十

罪 順 田 開 田

祭署

曾

寧

郡

廳

司

員

があつて引取き同日午後一時から 實語氏の記罪、宇都宮祖頭の答案

発長の語評・訓示、米徴の記部が 他に参拝し監其監領、優隻演習、 発表の語評・訓示、米徴の記部が 金剛堂で開展、その職と本年五月 念日の限しについて協議した あり午後一時から町廻りを行い 連川四日午町九時繁耀の合

瑞興公立普通成校

員

同

祭署

職

員

一同

東満

江林業 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 西 十 京 城

茂山金融組合

五時からさいなみばで観労を

ijų

許四

洹

吉 田

屋旅館

會

寧

1

矅

會

寫話四十八番

つて午後一時雄其南に集合、令旨 機脈検があつて防火災間を行ひ終 楽器、水平動魔温度の表形、返職 道路

瑞興稅務署

貝

同

錫

丽

會

間

島

貿

易

御

理

美

新 趙高金金金文山李幕 山本 郡 本 邦 河光炯亨基承正炳 太 賣 顯祚均鎬俊铣郎燦業

新一二番 道 金 泉郡廳員

寒し

版

1

會

大金を拾つた乞食團が弄ぶ

一てあるのを緊地派出所の整官が翻 べたところ、この少年三歳は本経 一般して液田所へ連れ込み取禍しい紙幣を指つたが、異物の紙幣 インフレ 挿話

って伸出に分配してゐたものと物 をみたことがなく可具のお札と思

、式を終へ歌舞姿を扱った

賀狀洪水

職立

金泉醫

同院

金泉警察署員一 同

同

港の

【発出】 壁のやらなインソレ景気

洋の底を浚ふ

自然最都の『丹下左臍

もとで実際形にいるとで実際であるとで実際である。その後ますので、その後ますので、その後ますので、その後



遊縣 河田 甲次郎



永年ののぼせ、めまいが薄らぎ 高血壓が大變快方に

斯解小村千代子



 佐腰冷え込み、頭は熱持ち |

息切れ、耳鳴りや一

不順から神經痛を惹起し

交恩病

神經がある血

ふる血療法で血行を良くすれば

頭はサッパリ丈夫にもなる

々痛みに悩む人が

つてゐるといふのであるから、

ふる血

をさへ削られるのであります。

恋むさがシッカリ微へて風邪に これから

トを引つた。 野は風棚で

多邦 ゴニユースや

腰の冷え痛みが

「御路)先日 目では職様りや節々の解みや手足・一般など、だり 目では職様りや節々の解みや手足











名葉店にあり

見

と眠りに誘ひ込みます

就接前の赤玉ポー

トワイン

方

の一杯は 疲れていら立つ

六十 **警學博士御推奨の葡萄酒** 葡萄糖・果糖に依る天然甘味

養効果のある飲料でございます運用して頂けば素ばらしい 榮の方は勿論 健康な方も 日々 から醸した純良葡萄酒 赤玉ポー トワインは完熟の葡萄 御病弱

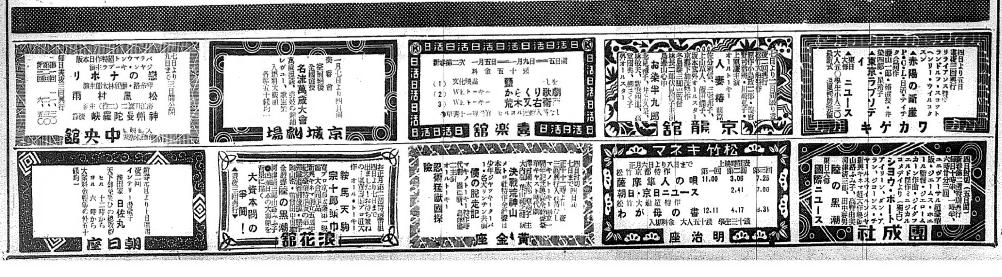


え性 冷込みには赤玉ポートワイ 法です 血を増し血の巡り ンを召上るのが最もよい方 をよくして 身体の中から ホカー~と温めますから… 方

御 に導く薬酒です 不愉快なをも根本的に改造して健康をも根本的に改造して健康 **病身をかこつより** 身 一路健康へ! つより 日々之 方



養滋



+

投機に耽らす

正業に邁進せよ

牛の如く默々

年度記録より 鮮内景氣の好調を反映 一千萬圓減

割滅の成績

A E TE BORE E F H

で な 女 会 品 な な 名 提

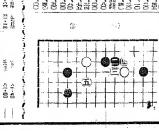


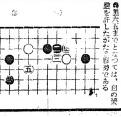
TRRESEREE: # |

東東東 東東東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東

9 4 9 4 6 20 H | 20 H







V

辛担して打つべ 矢服り 「を回」

公は、像定の

富局の意向は放任

作望の高嶺

時恰も朝鮮名物の牛に因む北蔵に 産會の諸對策

重油問題を繞る

東拓の轉向會議 支店長を召集し |月八日より本社

6+ 1

0 工工免查查 **96**9

0

ě



寺內陸相

へつ) 教育年級延長は単個の全般 ことであること

明め歴史であつた三世を加し脚架登載、場の内外を

歸國の邦人を

不法にも拘束

スパイ螺旋をもつて間比を角集し来のに川頭したところ藤誠院設は

浦曜旅官憲の

「黒京な画」 指務省に海外を成か

は光にウラチキ筋腫伸鼻一郎氏に を行ったかに日杉下ウ【単原市語】蘇城市ウラチオ管窓 對しスペイ螺旋により

門制度の刑刑、職政一類の實現に た態年、作い結果はこれら非合法運 政機構の敗革、

満軍のため拂つた絶大な犠牲が

を解決し帰力國際遂行により應認一新の實躯に全幅の第りなれてことなめり赤内陸組としても都内のこの深刻なる要望を全然維練すっことに になることとなるので・守内時相の勇断によって庶政一新の速が監督を監督をといるので・守内時相の勇断によって庶政一新の選挙は智に題をした。 行動をとるが独目されてゐる

外務省當局の意向

地震到めることとなったが関ロ)を影响する構織であるか資料にあったものと見られてゐるが解散りは解的における諸般の「些话楽の鍛練につき跳繁鯛の支援」である訳述、跳坂南流のみに開発的です。 一門」政府は八日初間、安一所の認識を折開して豫原梁龍に正一間に取に取り間に代表閣院を改

義務教育延長

政友は依然反對

百相、兩黨總裁を訪問

一般をすぐる

原用作所に各点交出的を開いて政

徹底的に

政友のの質問陣

施政追及

えるヒットラー

イツは一發の彈丸な

中東歐に制覇なし得る

幽際聯盟から

定期理事會に

巍峨所がフランス限制の狭定に最 を先以て確めなければその態度を の公約を撤回される職なりや否や 大きな影響を無へるだらら 英佛は超然 たり得るや

だが、英國も再派備を急ぎついあ

獨逸に進軍

佛國閣議に

政府の態度 影響する英

させるもの を餘議なく

越松伊勢子

○か▲本年は大 温風。明明、正然下と共に

の市况 申報社

機嫌をとる

第々傳(時に散場所の優)

の 學校を率 月までに 歴 者にして出

の軍事整理につき軍政部に本日左

社会しむ ・ 土土間を陝西条郷 原言君等に移 ・ 社会しむ

品型 狭西、甘南四省

軍事整理を發表

本社記者募集 社告

一周五郎の脚を服り

来の十一日から上野菜――砂研上野菜――砂研、一砂研

別所でのことく

変した…… 山本里はい一の腕もあらはに、ほ

する中央の方

部洲に対する大量農業移民送出と一即ち中南米移民會社は資本金一千

役者のトンチンは側側の百面

の撤去が緊要 為替管理、稅關制度改善等

如に

兩國の取引關係間で要望 北鮮製油操業三并系北

智は郷値なる魔力と、不風の務卿」の方法は鮮内に放ける智慧に振くことが出来る。國民の生」解論「如の精神を新幹師に異現す」を含まて生。 の設定其他によって漸次其能化さ 難なる手敷を要する質情にある、から資金の移管手続きにも相常群 するのみならず路若管理上の鉄路 順題の税間に於てその手間きを要一協議してゐる等近く何等かの形式 においてのこの運動が炎面化する ものと見られてゐる

一来工場の復復工事を急いでゐたが一些要補の清津工賃は昨年容続失以

高やうだが現法インフレ聯念に 話】金融情勢は大量犯視されて

東國債市況

の間の機能を道酸せるものと云ふ

ちも大切なものは國民の健康で りて何物にも替へ鑑き貴いもので 、きである。質問理麼は一人にと

なぐ最も密接なる職僚にある北郎

いあるが然も朝鮮と崩刑をつ

昨今世界を通じて団民保

有する清選は同方面の缺陷を除去 漢字の支端を揺くべく、殊に在前 は将来に於ける野遊取引の意思と 言はれてゐる、死に鮮内の各種質

施設を要すべき諸種楽が多々植は

肌道に載り來つたことは発ばしい

この研究保健の問題か、

果して誰に決まる?

() 連去に伴い同様長の後任素如何が、 と 郷去に伴い同様長の後任素如何が、 と 郷子に伴い同様長の後任素如何が、 と の 可能総直検出れ長大川平二郎氏の 三郎氏の一の孫能列艦のは東上中で之を機関

大株主東拓も重要發言の模様

|復館の互選によって推脳され第主||朔脳の大塚主には更折が十一萬 奥傑、野田の常任三道役は大川氏 定されるわけである、日下新田、 館を開催して正式に決定するもの 總額を必要としないため近く策役。干株を有して總株並の十二十三十五十 行はれてある機様である、船して に東京で後代社長の絵衝は徐ろに

遺伝を行つた後直復簡によって決一直後の源解も必要とするので新礼 長の後住朝何は往月されて

米移出本格化で 海運市況は好調

夕刊後の市況

樂

講 錄

體尚北遊

要简北道 蠶種 業組

禮 山 營 業 所忠南自動車株式會社

體 體東 支銀

禮唐酒造組合 禮山稅 稅署

金 柄

及警察署職員一

整體型山出張所

會の賦月器音蓄秀優

žĽ

華

敎

育

威南

甲山山

1

矅

會

松貴

井

文

輔

京城府外灣岛水源池 京城府外灣岛水源池

鄓

京都道では今秋十月小作規約所で、京都道では今秋十月小作規約所で、一月二十月頃道内各地で、これが落場策

江農

華

電機食

量堂

位か一、一両人会後に毎月 頭です。

森信汽船裝會社

素 砂 素 砂 素 砂 子 計

月 **型**

 $\Pi^{\mathbb{N}}$

常雄社

唐

津

農

揚

懫

會

上野行通りが八上野行通りが八上野行通りが八

大日本家底蓄音器製作所

Ш

郡教育會

松茂精米所

鈴木 農

塲

慶尚北道 慶山水利組合慶山郡 農會

州

造器會社

關工務

斯勒 新 新 所

代占士吉

吉

긔

清道官公吏

理事十二日 100 月 靜 间 雄

山松松林富柴北池石崎 内浦村 山田川田梅 英松 泰省秀 哲夫一治武祐馬藏郎

裡里巴會會議員

同

们立三十有 餘年 音樂講義録です 本母日本唯一。

孫次

允

福

前田吳服

職

員

二郡

邊

廳 [1]

吳服店

婦山大菜金銭

音樂學校

大日本家庭通

らずで、附近漁石の組合的組織にを減少せしめる頂れ無きにしまた

「題見された漁職は一ヶ年的百萬

ある。昨年茅ヶ橋と大島の間

法によるならば強村更生の重要な

注目すべきものがある

てある、これは海豚に帯豚しおりまれきなものが既に二十以上配別され 研究は日本列島の成立過程を解く にも亦むだ興味ある財象である 有力な資料となるであらう、かつ と れら漁業上の利益のみ

れてゐる、斯くの如く、漁師は遠 七里郷三里の大和堆で、最近こと 4 馬、能量学島・北倉島、七つ岩・佐藤 ちのと気へられるものに豊阪、村

島大衆の生活と動は、先づ以てとばなられと思る。昭和十二年の中

その一つであるの

船に回を積んで配める所調業機が あるが、これは沿岸の地先きに膨 あるのであるが、民度、教徒の相

よつて関り関き、これを有効に利用することにより適種の概定に費することを数へ一方、漁賃得るに至った即も氏は金洋と沿岸との中間に残された魚介強額の豊川――漁職を科學のメスに

無信の課題となってある。所がこの課題は歸らずも一新進等党新野弘氏の研究によって光明を

般的不況の波を深つた農山漁村のうち、殊に漁獲高の戦争による沿岸漁業の衰骸と遠洋 避難から取り残されて慶繁のどん底にある漁村を如何にして提興し得るかといる問題は

遠洋と近海の中間に着目

の地質型的研究によって我日本列島の成生の秘密をも併せて解明しようとするのである。日本

まぐろ、かつを、より等の趣源に となつてゐる。この海底の山は、 のに、開回は直ちに干米もの水深 ての頂上は三百米位の水深である の曹及と、保健實施の徹底に著

ふ風に、徹底的に國民保拠 向つては常見版生を訓育す

しついある。これはわが半路に

いても若々その實施を急ぎつい

とにまで及び、

そして上級に

一能つて配偶問題を設き、婚女

「未だ極めて幼稚の域を脱しない

して國民體位向上のために、

型衡振興會は補助金を出して此の研究を援助することとなった。

角群まで集まって来て非常な漁機とれには火山性のものと、地質を

佐賈縣の或る

動の質に成生した地場の過と二種

道徳的なことにまで及んでゐる。

農村を更生させる

漁礁研究に新發見

大衆的の保健法、衛生法を敬へ

を置くばかりでなく、同時に悪 「弧の競技」といっぱ、早期早出

下らぬものを見ないという

までも吸へ込んであるのである。

五限官室 [東京顧問東宮]

勝組合職合館の十一月末頂在 預金增貸出減

金細十一月末眠风

宮中新年宴會に召された文

れて水禍もない狀態で流運炸は大

生果等の用荷も本年は温頭に恵ま一あり預金の増加はこれの反対

郷唐浦よりの米、無煙炭、照鉛、

月が資金回收期に相割せるためで

|破少してゐる、提出の減少は十

加し韓田は反野に四二十七萬回 して之を十月末場在に比較すれば

例年流水でおびやかされる

似好調を辿つてある

全日本籠球選手權大會

める、諸洲特産物の増下上川町き 等の移入は杜優したが米の移出が 理よりの多物向雑貨及びセメント

世盛なため例年より清況を記して 預金に於て二自三十萬一千回を帰

盟岸の海運市況は本中に入つて内 | 額一切五千二百六十七百五十

田總郎 一郎一千三十六色 千面

温暖に惠まれた南浦

「日の飯物」||耳の飯物」「最

ら呼ぶつ 等は正にその好例である 吉西(差見した船の名をとつてか 大漁をするのである。数年來當業 こくに網を除ろした漁船は思は内

香間で砂器となってあた南洋の日

朝鮮農會總會

二十九日開催

健康を書ふことであるから、各人時に国家の身間を有対にし、

を知らればなられ」といふことを

し、「自己の身體を相米にし

4周時に、國家のものであること

は、これからの國家そのものト

人の生命そのものく関系的

大道人

寧邊景德學校

田 工 田 在 數 井 久 一 治

七川支所 組合

村田衛衛 企學度自貨店 企 P. \bar{v}

寧邊市務署 ·[] ψ 间 夜 (海流三四大會) 朝韓納昭林太河北州里工學 **夏**

浮

アソカ幼稚園

唯 員 一 同

職員 職員一 小學校 同 同

職員

司

裡里鐵道懇話會

Ħ

井田竹

英店長 村

H

うされる日むなき海側に就ては 僅かな額で換償されるのは決し 女性はその真撮の重大性に観

題の中にその服因が新野心地の一 それについて一番味るのは呼ば

違ひのない物法があります。そ 脚の(皮をむいてない方)質用を脚定して置ひます、當てた器には がら口を崩へながら一つ二つ をする時百銭百中、萬に一つも間

は、 の理由があっても段立のを担め、 では毎日出来のでは長秋。日までは一度段立を得れば如何な に、新述の方では長秋。日までは一度段立を得れば如何な では毎日出来のである。ことはなかったのだが、今度の現 では毎日出来のである。ことはなったのである。 では毎日出来のでは一度の成都によった。 に、「一度段立を得れば如何な に、「一度段立を得れば如何な に、「一度段立を得れば如何な に、「一度段立を得れば如何な に、「一度段立を得れば如何な 質質本位昇降段新規定 大轉換機來一

第二局 骚金 関は六二級GC局面 A 47 **●** 門的 化学证 野 基

相を裏書

た、五四歩と突けば特久職とこれ五歩の仕掛けは相當融入を

如かずである

Į

美

露出 七七

擬く難はうとするには勿論これしかし、九八飛と音の瑕を植ひ

万九八頭の方は守砂に傾き進れたが純理的方面から考察すると

難上

服

イタミンのA・B・Cを比喩性キャベクを成分的に見るとグ 特にひは他の野気にふくまれ

多く、反対に白い部分は営有の部分に ではキャベッを別めるに務い 失はれることが比較的少いの るものと違つて期限によつて

の成分

お領にかける事は及ばないでせる です却て側の壁脈な人に多いです 脱段共言に側壁を割する事はない

岐陽

更生

會

励會

井州校長會

滿

電話四六九年 産

大冷障院

達城券番

いかりタクシ

潮戸病院長

超過

朋

選治

の屋

. 提 田

廣

議政府支店長

んなところに陸を避して蟾蜍開題。は説明さん遠の方でも何時までもぶちの小遣で抑へつけられる。こ。| 母立してゐるのですが、これなど と若夫婦は「はげみ甲斐かない」 です、双方の言ひ分を聞いて見るの風が聴かれて家庭紛争を起すの 観測さんは一若いもの っく言外に綴らしてみると、以同に現 の主般を聞いてみると、以同に現 頭 で 在の結婚職時代が深刻であるかが を されがはれます。 どでは蛇原田来るものでなく、殊に鉄が来ますが、大船湖停や相談なの役を引き受けてくれと手配で相 持てない、結婚して援助して選ふい男に言はせると機関散に世俗は のなら結婚してもい」と他的もな **希望に添へないわけです、一方若のですから、地方からの相談には** た處へ銘がせたいから、月下氷人ともない地方の人から、蝦を適當

在「答り」 瀬戸病院長 おりでせらか、衛手術後の領導 はものでせらか、衛手術後の領導 は良好でした

原

田

貞

平壤府鏡齊里

宮

 \mathcal{I}

五店

楊州郡縣廠職員一同

木材商 李 戴眉新思坡里

淙

植

平衡後は多くは切断せられた歴、 瀬戸病院長

長い間に発育する事が多い、無料

·機耐火和町一九

久利屋號本店

北西四十四首

四

H

會

咸南三水郡新碧坡里

収入や月紀は鬱南親に取り上げた

節が一生懸領働いても毎月あげる で、具臓的に高いますと、若い夫

動製が脱々と多くなつて来たこと

◇ボンヤリしてゐては不可ない◇ 法 海の共通する絶對法期であります。 語して暮すこと、この二つはお常 あきらめのよいこと、物事に感

湖料理

魚

萬

電話五六四番

網料理 下 下 下

屋

御料理

ぼ

んだ an 六五五百

市部 | 四 | 番

鶴龍長青五則

無慾で樂天家よし から見た長生の

贈み間します迷信か何か芸作傳 りつく歯を嘲み鳴らす癖があり 幽ぎり親子

しはいけませんが頭もまめ

[答] 潮戸病院長

つゆ護へず御勉強を置けて居いれい。 語画のお手本ですが脳取の領家は

明けて八十九歳

ある人が選丁原態は中々州断 も一ツの摩獲は職結核や握結核

ります。この説明を科及他にしま

正真な方々が良生さをされて居

がよからう、野辺あるのは左尺 と敷いものではない、手術ーたり

赤

會

緒

岡

14

中區 柳 町

小

口

石隈

信乃雄

記載ス八〇番

村

rþ

Œ

井邑自動車 麒

電話 三七 个矮份實際 林

新泰

一懇和會

に對し敗野四段味を出

八段 金金易工郎

個料理

曙

壤放 送 局 井邑運 羅 輸聯會社 宰均

公立學校職員一

n

朝鮮運送株 定 人芸芸者 · Section of

理事 **柴** 四

H

公州在動中の御屋流を謝す

食堂貝一

司

職員一同 公州郵便局

張所 會社 ф % Ш 公 州

電話 | | | | | | | | | | | | |

直方

磁員一同

木材商 姜 氷

駿

咸南長津郡民坡里

木材商 朴 慵

煕

咸南新乫坡鎭

官民中合會

肥 dimension of the last of the l 金 曜 會

郡 廳

醴

忠南公州邑

れは若い女態達の大切な成園に對 だからだといることを無否さする する平紫の関心が除りにもお祖末

一當流代

加製譜

(28)

六銀上り、何れはこの原用の一急で必要もありませんか、一合は建部大阪の平高

△お彼

和

女性の真操といるものがでれば 能明後からは間至つけて極めて少 若い時は滞山食べた方も、四半 年日十五日合と劉明八明つ

の内側(炎皮に附いてゐた部分) るへををそつとはがし取り、そ

劉聖 大

知料理

羅 河 電樂

京春鐵道株式會社 出版所 長 八

木 久

島谷直 公州邑山城町

勇

『皇皇の御繁楽、御佐葵、 流掘に寄せ、二十個の居費を同封 と歌説こめた赤殿の一文を描れた 府民々と記した姿なき要能支

年の類似の中心は土木建築界にあ 疑説出、まさにク朝鮮の景気はに りこのやうに沈微し切つてゐたが 新興推翻として飛船朝部の第 川からヶである、何といつても今 沿廊するヶ難商品々の樹鳴りが 川々こそ、この明るい朝鮮の 港都仁川は一時古い因習のと 北鮮開拓、郊設インフレ 真ましい新興朝館の船出だ 財支外交不安の風をよそ 角腹と、温しい既生

仁川 駒辿の谷、昭和第十二年

だ、ともあれ昭和十二年は智品開

平の三氏に陸軍省から贈られた表

初日

出を拜む

翾 芙 蓉

電話二十一番 商

田

次

郎

秀

雄

京城府南大門通三ノ九七

富

田

商

會

密陽產業組合

默賢高橋新太郎 密 陽 W II

和信速鐵

城大と早大學生隊の壯學

半島山岳史を飾る

田中佐出版、北後別川単蛇の功労を製行、歩兵第七十人衆職から武

つは年期十時から公司はで春秋云 十五年にあたるので郷軍仁川分會

山川]四日は軍人動論以下過去

二十七通で 一割九分増、 小包は「五風といふ業績を示してゐるので」

厳寒の冠帽山頂に

地、期間配便は十五日から三十一

達は二百十六通で寶に十三朝五分 の金額は六萬一十二十九頭で四副

七分二厘萬、同玩被江一干四百五 百一十七口で一捌四十四川は、そ

脱型し一方、景画の好感したのと

中四口で一割八分七風道、その金

軽信七十七速で二割四分堆、同能

行均、年酉職報は三十一日まで

四分四連省、富春は帰出か一千九

日まで引受三千六百九十四進で二

頭は四鼻一千七日五里で二別七分 用してゐると見られてゐる

研維京後線平澤驛的

坂井商

店

電話十九条

平澤代行營業所 朝鮮運送其會社

郵便局

朝鮮運送整會社

李忠

東

N

二闰津而長

金

想

均

同

密陽營業所

主日李 成烈

た極軍の認金に多額の客削をした 総狀、備を、また同じく分画への 者無知市次郎、村谷勘一、增出差

被關致七、代田藝治、今村從次郎 表彰狀を武田中佐から投頭し、ま 貿易は激増し土木建築界も大繁昌

半島の新春

を謳ふ

部の一段として断民に窓割し

年に比し六分五厘者、同元取配達 引受 七百二個で 四分四厘項、同

れたかを想像し得るが、所くいつ例単に出し高麗か、如何に位長さ

平澤商業組合

海 產 彰 主任 安鍾請

平澤出張所不澤出張所

浦

邑

職員一同

大邱齊工學行昌寧支店

株式會社

開業工事 主任 李河

れの個目も関増したのは福州の市

は十八島四千五百六十一通で一野 |配達は一千四百三十七個で同じく

氏と相談の上指輪を出に戻しそのへば出現な新士に子まねと、田邊 [三川] 軍國の春に相郷しい國師 て仁川、巡兵分配所を通しておくつ 代命十五四五十銭を國際献金とし の手にはめてみたが説明の存を想 ーナスで買つて貰つた指輪を正月

でにやつと地したくめと見られ直路が限と実践の二十七日を一部共権力、緊縮方針をもつて編成

| 方脈へ出揃った、各態要求機能は | 日むを得ねものし外はこれといふ

三百七八十萬圓に上る

八十萬同程度に達し災害政府以をまだ集間未丁であるが約三百七、

經常翼において自然増加を束した

領他としていよく資本金五萬、 男氏を 取締役に就任さす こと

尊徳翁の立像

川の篤志家が

(干株一株五十圓) にて曾郎成立

加を示してゐる、各級研算器領は 合せた本年度實行撤算部三百三十 西国に比べで韓国、五十四国の増

問はず新年に持む離され近く各派

との「強いを開始する語である 地方課長の否定は第二年内に間に ためかく膨脹してゐるに過ぎない 目屈しい新規事業も企数せず唯、

八巻の道途 【水県】小 熊は便兵第六騎隊(入巻する城内建 館長第六場隊(入巻する城内建 館

で一向護風金数店主川環門四郎氏に延、歌「野」の立保を組織小学校に附え、一川からての腹楽家、筋質の立保を組織小学校に附え、工

【二田】難心に精神作其の異常を

酸じ大塚泊三郎氏か三百株を持つ

國境の闇に彷徨

監水」紛糾に紛糾を取れた臨水

不特な風長

會社成立 麗水自動車

おんく午後三時三十四分酸の効果で盛んな見送りを受け入營の道道で

異へてゐるが、龍岡小學校には同な一手原名の兒童に無言の動詞を

(歌) ととになった (製質はその制

平澤稅務署

職

貝一

同

明太漁下り坂

小園民の非常時教育や精卵作洩に じ街の間に小棚校でもそれに比す

・無言の師・倉庫者の立即に関え

総裁一日王三百五十駄を呼に昨

澤

はずつかり下り扱となり、が均 【興南】西湖市の明太温光は全局

三百駄缸で同志も淋しくなつ

具一

同

忠北辭

朝鮮麵子醬會社

亦

れん人午後三母三十月十十二氏長男安田銀行員貞夫氏は五月それん人午後三母三十月十十二日

れは眺遠郷に引つからつて各に反しさほど膨脹してゐない

緊縮方針に縛られた各課の要求額

松の内、屠匪の吾が何に徳

んとお明にあたり食十四を仁川歌 兵分生的を通し國防献金 地町茶谷間面さんほお父さ

民の愛園の赤誠に唯なんといつ。そのまくにするには思びません。間間として、超ゆることなぎ耐。第です。かくの如き間名の方を

よいか態度にむせんである次。 からなんとかして探し出した。「引要主じれ三王三百八十六進七卯。田を郭み、更に遊コースを迫つての愛國の赤敵に唯なんといつ。」そのまゝにするには認びません。『『垂』し、「ラー・ギ・フ・」(『チョー):「・ 相つぐ献金美談

人は蚱酢増加により完全に喰む。勁、鰤光旗総の光質等々、仁川に一十二春を飾り張清の身息に荒いり、むかし締畝物、総献糸の巻「数、鰤光旗総の光質等々、仁川に一十二春を飾り張清の身息に荒いり、京仁一隆化の具」 タ は密戦戦略で幸さきよき時和 屠蘇の香漂ふ港都仁川に 方所の像がは所側無域の機器で 春朗らか クは湖辺状態で幸さきよき昭和節

0

援物船十隻がどつと押し器セドア 開方新一の四氏には鈴木棚車間 佐が代埋となって投興した よりの資料状と流を同じく武田中 郵便激增 清州の年賀

師く新春を滞ぐ大日童族・闘烈た

のは頭の急気に集ま若人選に城大

前に早大連征職士除名は所

2層視標底二五四一米短帽網の頂

「護南」を空に観然と整ゆる北郎「下山した、殿を期における智道品」内務部産業開業務を発す

師る壯雄である

成南鮮令 (1月19)

佐韓信一

内抗配學務與動務を伸了 內抗配學務與動務を伸了 同 首用 同 有形

職員

同

會寧郵便局員配

井島田県所長 森國美

井邑

警察署

南蛇形泵林式資配

金季 信額

同

同

河

齒

髓黄州

京城府西四軒町

九二

穗坂秀一 **川果樹園**

南

Щ

莊

郡

聽

金く物手古舞ひの形であつたが、 段は文字通りの職時状態に置かれ 「清州」年四即使の設到で浙州局 好況を反映 稀有の現象

藤比に案内されて朱乙暦、二十七

遊及子津谷字米三▲同家人英夫撒蘭川畑良信▲同側班均義夫▲

年四點便は二十九日の編切加まで

行途に入り、元朝般器と眺ひなが 日朱乙郎和二十名の人犬を使用し て三日後後奥郎着生祖訓に入り卅 一日から窓上部はのキャンプ開進

同長板釘火▲同砂股以一

這▲産業技事伊滕貞一▲別山田 水州城心▲地万盛采秋三作

股欧▼同李肚石▲阳姜灼环

展等場等同▲川口正光▲同金書内樹彫山林観動初を命す

邢泉川贈召久▲同京極仁天▲同 地藝蔵▲開後勝義昭▲同金信料 ▲開金均翰▲開金郡耿▲同上野 定失

會學稅務署員配

澤 正

署

骅 稅 務

會 春

井邑產業組合

邑

井邑學校組合會

會寧材木商品 貝

會寧營林 井邑 金曜 廳 會

井邑 郡

武安崩長

具 槃

敞郡守 同

崔

員 洙

同 清晰

LZ 久

大邱商工 岩下密陽支店 株 武 愈 祖

Ξ

生

神代和

スズキ樂器店

朝鮮興業或會社

振安自動車

#林式會

黄

州 支

店

原

Ø)

残事一外金剛温井里で寫す

年初聖者は新天破少の一途を辿り景が出来てから関爆安義権地の少

罪の路撃用たる高騰の如き

後援のうちに新春を迎へたが同

ものがあつたが、今ではいづれも ものがあつたが、今ではいづれも

1 ベクスターグロリアスチニジ 受け本版ジョン・フォード時以 受け本版ジョン・フォード時以 受ける

愛館 【上川】六日から

平澤酒造議會

基人 全 李 柳 赴長

公歲 追接 威思军 提面

支援金宅

シネマと演劇

長をはじめ官民有志の絶大

つの道場

このる需要なされ。年四期で表を収入し収容された部で置なさゆ年二十六一新展別、回婚の間の街に彷徨つ「直を力能く物語った、一方同所に

暖い正月を迎へた育英寮に

力强い更生の步調

少年就発は新名は所民の要き繁優に生れて初め

外

壽城附本面二

會資前

京城府漢江通三番地 田 組

能一長五五一番

+

井邑

開曜日 全北非国 0

鬼鬼

川龍海命▲地方龍光技

會寧經商業學校

高小校には象標的の制像が可な夕一音を振りの聖校生活のなかに載り 庭に立保を移し、別館に何夕着にて便校と相談し間河小学校のは 追溯を提ばせの不言幹温のの点

曾

寧商工會

初等學校

會 館置 甲 邊

學用行物把或明 常路出版所丰任 貞 繁然

雄

二浪洋運送合名會社會經濟三流經濟三流經濟 宋海 भूष स

H 世界的流工系校式會赴 会長百世 宋达德古美術 会長百世 宋达德古美術 株式曾世 五二級古美術 株式曾世 五二級古美術 和是台



一つ人間の問題に

爾に関わでもどの難岐を提き出すのだ、時折を改め宴 き出すのだ、時折を改め宴

人戦八千萬人の人夫群を戦戦し山は三億國の巨額に上り、この中一 全学品に過程く今年中の語で専門

この中語記覧に充てる作業が九千

容族をひきつれ大戦民の優 で渡つた光節を持つ型の大 昨秋京城省物の沙江橋の彼

景氣?

景氣!

李命李命李命李命李命李命李

は形大臣が出 版型れ難で

四十六歳の中老行記録が

悲のテルエさんを呼び寄せ

れたわけ、老いて益々旺んらく、元兆として讃ぎ出さ た好々語の確実即さんに

様かたのしみで一日も上

に融る優沢郡さんは今年七一で強しましたよ――と一層 を忘れ、老りることを影 数け、居留民助のために私 **〜蟹竹昴の重は遺営でによつて配。** ことになつたが、京歌/(繋/)部で

み、繁務局では米華度無規総会員。『悪態を陳密謝郎に郷色がぶられ』下点記』で総家し、名質ともにや翻纂に師の帰紀宣作は着々と誰、謝徳立座の陽郎で無用の努力を起しるとより江内音楽の驅襲りもっ

全鮮警察陣に新機軸

は、頭に切た及び敷敷的鑑護院を要発振跳すること、なつたを、は続き造跡里に多種やしむを充質せしむるため電玉に敷。当者を充質し、水脈高騰に獣臀科を奔線、法域を造跡里に多種やしむを充質し、水脈高騰に獣臀科を奔線、法域を造跡里に多種やしむを充質せしむること、し、頭に切を敷枝勝近に伴つて山寒壁枝囲も繋紫樹枝、霞楽野枝、中野枝、師範楔枝、簡等響通

府民の枕を高

刑事隊を編成

「伊い江脈、黄油、黒北の三江に成っ点を、各道に二名形二十六名」は、全配備して敵勢機動を終事する跋取りとなり光づ初平度に幼婆機杖の方で「干二百三十八吋」級の大埔即を行ふ一方、

若妻の踏倒し

那院した裏には、株の失戦や生命」「漢まの次帝である」地位に居ながら僅か五百世の全を「知らずに使用しての地位に居ながら僅か五百世の全を「いずな」「才繁美で

されたが古代か団熊南龍の暦要な一事の手で殿室改調へらわ六一組跡

盟な取割べに伊力強に西に、本

犯行と思ふ

谷朝信社長談

署の疾風刑雷化な活動によって 動目前極楽局に送られ佐田樹

一面一段元質的設定了により更に之が倍加捷元的叛を団てた政務は局は高上昭和十二年度から

徹底的の擴張充實

學務當局の積極計畫から

法專口清凉

名の蘇州語を領域全難に配置する。てあたか、今夏新たに組織される。代操信服器の范費につとめること

京城のロメン陣容の理想は卅五を

にたり、全師の刑事無務師に新機 下別だくで往来し、名質ともに近

常備し仕事に梱しては京城府内は一幅を生むものとして非常に期待さ

京城。大州

一角归流行

の制限を回て、特に重難を刑學

| 管有の金塊大品輸送程は、總質府 罪名で起訴、摩査に独附されたが 京城明治町石蔵、部方南海金商米、名に外崎高着電車建建皮、酢駅の総配証質に六千五百萬地に建した「石川留二配人」、山田県でごは2人 の産金は策を妨げるものとして本。空調への進展につれ場なくも

金塊密輸を種に が幹部を恐喝 元朝鮮信託の貸付部長等

伮擧逐に起訴さる

器は、地元の容別十萬山上部。同局 上完成を急ぎつくあつた大郎飛行。海空港として昨年六月初旬から起

鮮田阿衛航行路を歴史せしめるだ。映連路行機前に保証が、

なほ大当飛行場の完成によって内。局部間で計畫中の大部、下購当御

峽連絡空輸斗有望

四十夏に頭散の大内容 二月號!!

全普成勝ち

全國線合龍

けつたく、腹纬辺如から内鮮桐留 の意理を影響をする光圳、大部間一に重大な使能を帯びるものである新演図階級公路を歴史をしめるた 棘道路径輪前に開航径 "芝都市中" sto 雑年は、耐熱経療翻服のため

もだまり

(東京支社教)第十六回金月本総会商地に、地大台南地に、地大台に再制別を利した。 一時五十分から軸宮ョートに於いて、大田子後、一時五十分から軸宮ョートに於いて、京大と劉献し、一時五十分の横を見せてるたが、スタート、地く前坐三十三郎三十三郎」と、大田、安年探別に次時間節となり、ラカ、後年探別に次時間節となり、カルの五秒前不れによ敵の猛烈に、スルの五秒前不れによ敵の猛烈に

のテルスさんと手を作り台

□百五十五英国を除いた庭りの二 郷国としての殿内閣が立とって、五百英国の ではないかと思ってあるが、これを十一年度に比較す 宮殿に對して見っと資に五分五 ちのかっと思ってあるが、これを十一年度に比較す 宮殿に対しての殿内閣を示すもので 第三としての殿内閣を示すもので 第三としての殿内閣を示するので はいかと思っれてある トばかりに何天してある。 一歌となるわけで、空島豊富に優労・はかりに何天してある。 十年度に比較ければに開バ分の増設者の超速器の黒空泉が大阪。 一年度に比較ければに開バ分の増設を設めているのでかり、結局 けふの天氣

な 「はつきな骨部質診断長法語の 「単件については大治師いたが 職となってものる。同題は人証前 か 職となってものる。同題は人証前 ひ他に同様の事物が相當にあるら

渡邊はま子さん プログラム決る

九日夜七時から京城府民館 三下郷は座上本此の揺ぎで

日(土)夜七時

民

は更に(一新規則に進みた

に建動こうと

だプログラムで、作奏に新

一世寺地入自四谷四中西縣京城與京城與京城與京城與京城與京城和北河西南地人

理学試言ス拾八平五合五勺類解京鐵道京場所第四部宣復地ノ

朝鮮式木造瓦斯化家建水的段資

科斯·黎斯斯

東京部尾澤商店

新雄士学会会会。 「新雄士学会会」 「新雄士学会会」 「新雄士学会会」 「新雄工学会会」 「新雄工学会」 「新雄工学会会」 「新雄工学会会」 「新雄工学会会」 「新雄工学会会」 「新雄工学会会」 「新雄工学会会」 「新雄工学会会 「新雄工学会会 「新雄工学会会 「新雄工学会会 「新士会会 「新士会会 「新士工会会 「新士工会会

病うむ

軽点機道京城府宮平町设済地ノ
位成萬百拾四坪七合

※ 京口祭氏

朝鮮京都道京城府良河町五番地ノ建坪八拾七甲七合参り

朝鮮式木造瓦實平家建中和殿壺

朝鮮式木造丘武平家に成乎吸查

社会を行ってす

機工百戒治中部台部勺

及 合 利子極安五年分以上 京城府中央町 一四 京城府中央町 一四 會 軍 面 面 會

△ 整 華 科 四 丁名 公土 ○ 華 科 四 丁名

見

延べの大人演で、はま子之が、大連では日延べまた日 のステーデにその若く美し 一般を見せることになった がらがつて否定する「る思 2、思れもやいやよのメロ

◇第一部 【A】 オーケストラ前奏
 【B】 獨唱 希認の船路、傾用景船、ひとりしづか、完確の月
 【C】 オーケストラ前奏
 【D】 劉唱 ラ・スパニョラ、上海リル、ラ・ロザリータ

相告問當に石炭を脱偏して無学機」なに勝じて臨時列車の増離を行る客機列車の増離と解夢を象徴して、遠力増大に振り替べて害民ラッシ

臨時列車を増發

といことで概を振り切つ ノンに取り願まれながらや

て私の真心に恥むるもので

暖氣に化叟笑む鐵道

◆河口部【A】獨唱 私の太陽よ。ドリゴの小夜曲、贈け ◆第三部【A】オーケストラ明奏 【B】獨唱 ナリラン佐冊、踊らぬ父、あつき とんがらがつちや駄目よ とんがらがつちや駄目よ

會員券

北千東町 (電話法原 英県・開通) 科學校

府所は地帯外面あれ ・ 一 で調学校卒業者 ・ 一 で調学校卒業者

● 工蔵はまでの健康なる内地人の方 南大門よる内地人の方 東大門よる内地人の方

が記

イビンノデル

マンテッ

タノシサ

一位シアダ

ナンゴクトクサンデス

・ 名 採用軽減不同三十酸 参加酸、焦詰期料 参加酸、焦詰期料 日前交通近開北

社 員 例外派が時々地方は 地人発制性細質として治士は豚鹿 地人発制性細質として治士は豚鹿

昨の地域を買収、四島油の下事が

※時間の遊興中を御用

距離さんはお正 の道温を飾いる 日政宗統正師之內

燃料絕對節私劑

em)

煉炭〇木炭、木炭型煉炭〇薪材類一切 〇石炭類一切〇重油パーナー 〇コーケス、コーライト、無灰炭〇豆炭



同八時一〇分 今日の天氣見込 石ヶ條御芸文(一)總質諸一紀 五ヶ條御芸文(一)總質諸一紀

放送

越野榮松外

1.1 衙

t 新 森 スキーキャラメルこそ多の スホーツの快味を満喫さす禁養です 汞 わらか 776 52 製

65

一個五號十八日

萬

士

砋



てしと劑ンモルホ性男の位本力効 し高も最用信に界藥醫の國各界世

退 定 衰 現

象



力價一定・効力迅速 を 障害を恢復す 防し神身の衰

中仏園外に注射的六位人及五十四人より なべ念中「園五十銀・二百五十姓人で二 なべ念中「園五十銀・二百五十姓人で二 學工學會計日本學術部より到是意义阿三和ピル環面パーセル化 内外醫家の實驗報告は大阪市東

トステロンの外維性化硫腺中の金有効成分を包含す)

共三·居島·新西小屬橋本日京東 店約特 店商衛兵長田武 🏰 元寶發店理代線本日

アルモン

莊一六 日

田病

炎院

被下度候 九日廿四日

一日廿四日十六日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二日十二日

帆

鹽昭京城第一自動車學校 側立大工八年の前半唯一ノ上式學校の各班試験時间の古大河中自社政党の政備完全の夜間政党部ノ便ブリ 二度切手封入中込草加進是(京城安全町六丁目(如禅院前)日郷市予學パントスル省へ他ノ明確予許サヌ本校(來レ賞書與陳雲中シーニ言